

# ゲノム創薬学分野

## 論文

### A 欧文

#### A-a

1. Ikemizu A, Hatta D, Fujimoto K, Honda M, Watanabe K, Ohyama K, Kuroda N, Tanaka T, Shirotani K, Iwata N: Identification and Characterization of Synaptic Vesicle Membrane Protein VAT-1 Homolog as a New Catechin-Binding Protein. Biological & pharmaceutical bulletin 47(2): 509-517, 2024. doi: 10.1248/bpb.b23-00830.
2. Watamura N, Kakiya N, Fujioka R, Kamano N, Takahashi M, Nilsson P, Saito T, Iwata N, Fujisawa S, Saido TC: The dopaminergic system promotes neprilysin-mediated degradation of amyloid- $\beta$  in the brain. Science signaling 17(848): eadk1822, 2024. doi: 10.1126/scisignal.adk1822.
3. Hatta D, Makiya S, Kanamoto K, Watanabe K, Fuchigami Y, Kawakami S, Kinoshita A, Yoshiura KI, Kurotaki N, Shirotani K, Iwata N: Proline-rich transmembrane protein 2 regulates the magnitude and frequency of dopamine release by repetitive neuronal stimuli in the striatum of L-dopa-treated mice. Neuropsychopharmacology reports 44(4): 829-834, 2024. doi: 10.1002/npr2.12478.
4. Iwata N, Tsubuki S, Sekiguchi M, Watanabe-Iwata K, Matsuba Y, Kamano N, Fujioka R, Takamura R, Watamura N, Kakiya N, Mihira N, Morito T, Shirotani K, Mann DM, Robinson AC, Hashimoto S, Sasaguri H, Saito T, Higuchi M, Saido TC: Metabolic resistance of A $\beta$ 3pE-42, a target epitope of the anti-Alzheimer therapeutic antibody, donanemab. Life Science Alliance 7(12): e202402650, 2024. doi: 10.26508/lsa.202402650.

### B 邦文

#### B-b

1. 城谷圭朗, 岩田修永: プレクリニカルアルツハイマー病患者を対象にした先制医療. ファルマシア 60(4): 314-319, 2024.

## 学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	1	0	1	3

## 社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
岩田修永・教授	学術評議員	日本薬理学会
岩田修永・教授	薬事委員会委員	日本神経精神薬理学会
岩田修永・教授	Regional Editor	Current Neuropharmacology
岩田修永・教授	Editorial Board	International Journal of Clinical and Experimental Pathology
岩田修永・教授	評議員	日本認知症学会
岩田修永・教授	評議員	日本神経精神薬理学会
岩田修永・教授	評議員	日本生化学会
岩田修永・教授	評議員	日本病態プロテオーム学会
城谷圭朗・准教授	代議員	日本認知症学会
城谷圭朗・准教授	倫理委員会	日本認知症学会

## 競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
城谷圭朗・准教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「ヒト化 TREM2マウスを用いたミクログリアの機能異常と神経変性疾患発症促進機構の解析」

城谷圭朗・准教授	せりか基金	代表	せりか基金賞 「TDP-43伝播マウスモデルの作製とTREM2によるALS病態促進メカニズムの研究」
八田大典・助教	川野小児医学奨学財団	代表	第35回（令和6年度）研究助成金 「小児神経疾患の関連分子PRRT2によるEGFRシグナリングを介した神経発達の調節機序の解析」

## 特 許

氏名・職	特 許 権 名 称	出願年月日	取得年月日	番号
岩田修永・教授	新規アルツハイマー病治療薬	2015年11月6日	2020年11月20日	特許第6797408号
岩田修永・教授	新規アルツハイマー病治療薬	2015年11月6日	2018年5月29日	特許US 9980937
岩田修永・教授	アルツハイマー病の治療薬および／または予防薬のスクリーニング方法	2013年2月20日	出願中	特願2014-506090
岩田修永・教授	アルツハイマー病モデル動物およびその用途	2006年6月20日	2012年3月9日	特許第4942081号
岩田修永・教授	Method for diagnosing a protein misfolding disease using nerve cells derived from iPS cells	2010年3月3日	2015年8月4日	特許US patent 9097727
岩田修永・教授	アミロイド親和性化合物	2004年10月29日	2006年11月10日	特許第3877754号
岩田修永・教授	アミロイド親和性化合物	2004年10月29日	出願中	PCT/JP2004/016101
城谷圭朗・准教授	新規アルツハイマー病治療薬	2015年11月6日	2020年11月20日	特許第6797408号
城谷圭朗・准教授	新規アルツハイマー病治療薬	2015年11月6日	2018年5月29日	特許US 9980937
城谷圭朗・准教授	髄液型糖タンパク質の富化及び分離方法、並びにその方法を用いた中枢神経系疾患用マーカーの探索方法及び中枢神経系疾患用マーカー	2011年12月16日	2017年1月20日	特許第6074846号
城谷圭朗・准教授	糖鎖アイソフォーム検出方法及び糖鎖アイソフォーム検出装置	2013年8月9日	2016年8月5日	特許第5979683号

## その他

### 新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
岩田修永・教授	アミロイドベータの悪玉化機構を解明ーアルツハイマー病の複数の新規創薬標的も発見ー	公式HP：プレスリリース	2024年10月11日	アルツハイマー病の脳内で、Aβが分解されにくいピログルAβ（いわゆる“悪玉”）に変わる仕組みを解明し、広く社会に向けてプレスリリースした。